

これが体制を覆すだけの力はない。昨年のヒジャブデモの際にも、民衆側のリーダーが不在な一方、体制側は革命ガードがあらゆる組織に入り込み盤石な態勢を確立している。皮肉にも、今回のヒジャブデモの実施により、体制に反発する民衆の扇動者があぶりだされ、体制にとって有益であったというような見方もある。

軍馬の碑について

小宮 一之 空自95

はじめに

もう十年近く前のことですが、仕事での外回り中、「馬神」と書かれた石碑に行き当たりました(写真1、地図1)。住宅地の真ん中で馬?と疑問に思い、その後、書籍やインタ



写真1 馬神碑



地図1 馬神碑の位置★

ネットで調べた結果、色々と興味深い話が出てきましたので、まとめてみました。しばし駄文にお付き合いいただければ幸いです。

1 そもそも軍馬とは

現在の自衛隊では、馬と言えば体育学校で馬術競技用に飼育されている馬が数頭いるのみですが、帝国陸軍の時代には、兵科として騎兵科がありましたし、他の兵科でも、火砲の牽引、各種物資の運搬等、現代では車両が行う任務の大半が、軍馬によるものでした。また、将校は乗馬本分とされ、騎兵以外の兵科にあっても、佐官以上の武官は騎乗が基本でした。

そのため、軍馬は兵器として管理され、ある程度以上の規模の部隊には、軍医の他に獣医も配属される等

の処置がとられました。また、軍馬の管理を任された兵士は、行軍中の休止の際にも軍馬の世話を優先したため、馬の世話が終わる頃には前進命令が出ており、結局休めなかったとの回想も残っています。

とはいえ、軍馬は単純に兵器と割り切れるものではなく、物を言わぬ戦友として、将兵たちから大事にされていたことも、各種の回想や、記念碑の存在等からも明らかです。

2 駒沢と陸軍

明治24年(1891)、現在の東京都目黒区駒場から世田谷区池尻にかけての一带(現在の東急電鉄池尻大橋駅周辺)に、駒沢練兵場が整備され、乗馬学校(後に騎兵学校に改称、習志野に移駐)、近衛騎兵聯隊、騎兵第1聯隊(共に後に習志野に移駐)、近衛砲兵聯隊(後に近衛野砲兵聯隊、野戦重砲兵聯隊等に改編)、近衛輜重兵大隊等が置かれました。駒沢近辺は、日本の近代騎兵の発祥の地だったのです。

これらの軍用地は、大東亜戦争終戦後、大半は民間その他に払い下げられ、現在は警視庁第3方面本部庁舎、昭和女子大学、都立駒場高校等

になりましたが、一部は自衛隊三宿駐屯地、防衛省官舎等になってい

3 馬神碑について

話を馬神碑に戻します。

馬神碑は、騎兵第1聯隊の将兵が、戦地で、あるいは平時の訓練中に死亡した馬を慰霊顕彰するために建立した碑です。

碑の前には、蹄鉄や櫛等が供えられ(写真2)、現代でも近隣住民等の崇敬を集めているようです。なお、筆者が訪れた日、通りがかった住民の方が、碑の前で足を止め、一札する場面に遭遇し、地域に密着していることを感じました。



写真2 蹄鉄や櫛等のお供え

なお、馬神碑の近くには、陸軍の屋内射場があり(写真3)、戦後も射

場由来の防音性を生かし、ダンスホールや音楽スタジオとして再利用されていましたが、老朽化のために取り壊され、現在はマンションになっています。



写真3 陸軍屋内射場跡

4 東山馬頭観音について

馬神碑から南東に1・3^{キロ}ほどのところ、目黒区立東山中学校付近にも、軍馬の慰霊碑があります(写真4・5、地図2)。



写真4 東山の馬頭観音

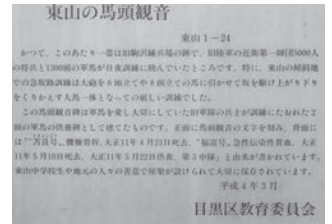


写真5 馬頭観音の案内版

碑の保護のために風雨避けの囲いが設けられており、碑文を読むことは出来ませんが、目黒区が設置した案内板により、碑文の内容は確認できます。

内容を要約すると、大正11年(1922)の訓練中に斃死した苦良号(とよよし)福富号の2頭の軍馬の慰霊顕彰のために建立された石碑とのこと。

現場はかなりの急坂で、苦良号の死因は骨折とありますので、重量物

を牽引しての登坂に耐えられなかったのかもしれない。

おわりに

現在の欧米各国の軍隊でも、米第1騎兵師団等、隊号に騎兵を含む部隊はいくつか存在しますが、歴史的な事情で「騎兵」を名乗ってはいるものの、実態は機甲部隊やヘリ部隊という例がほとんどです。

ただし、現代でも、アフガニスタン等の山岳地帯で、乗馬部隊が活躍した例はあり、山がちのわが国でも、騎兵の活用は研究されても良い分野かもしれません。

各地に残る軍馬の慰霊碑・顕彰碑は、周辺の開発や関係者の死去に伴い、忘れ去られている例が多いものと思われまます。これらの碑が適切に管理されることを願ってやみません。

(文中の写真は全て筆者撮影。地図は国土地理院地図 <http://maps.gsis.go.jp/> を元に、筆者が一部加工したものを用いました)



地図2 馬頭観音の位置★